

● 永生病院夏祭り開催

令和元年8月31日(土)



今年はいいにくの雨模様でしたが、毎年恒例の永生病院の夏祭りが病院内で開催されました。

今年も夏祭りの催し物としてカラオケ、ひまわり託児所の園児達の歌ダンス、フリーマーケット、射的や子供くじ等があり沢山のの方に参加していただく事ができました。また、よさこいの力強い踊り、忠八太鼓の勇壮な演奏もあり盛大な夏祭りとなりました。焼きそば・フランクフルト・唐揚げ等の売れ行きも好調であつたという間に完売しました。

売り上げの一部は、24時間テレビに寄付させて頂きました。皆さま、ご協力ありがとうございました。来年も楽しんでいただける夏祭りを目指してまいります。
企画委員会・ハッピー会

● “路上の歌うまプリンス”笹山太陽さん、いこいの家に来所!

令和元年9月9日(月)

笹山太郎さんは、福島県出身23歳。テレビ東京「THEカラオケ☆バトル」の決勝に進出し、“路上の歌うまプリンス”と称され全国各地で活動されています。

14時開演でしたが、待ちきれない患者様やグループホームの利用者様などが早くから来場し、大勢で太陽さんを出迎えました。真っ赤な衣装で登場され、一人一人手を取って握手をしてくれました。皆さんよくご存じの美空ひばりさんの「川の流れるように」や「ふるさと」を熱唱され、参加された方は美しい歌声に聞き惚れていました。手作りのうちわやペンライトを左右に振り、応援される方もいました。

当初の予定では35分間の公演でしたが、アンコールにも応えて頂き、約1時間の公演となりました。太陽さんのオリジナル曲「オ・モ・テ・ナ・シ」では職員がバックダンサーとして飛び入り参加し、大盛況の公演となりました。

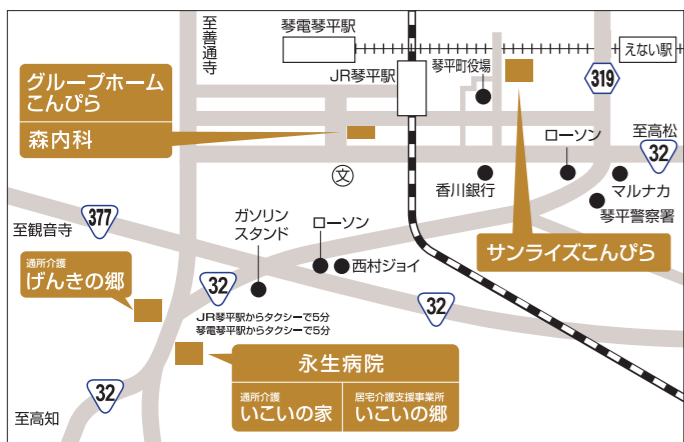
参加された方からは「ここによくきてくれた」「早くテレビに出ている所をみたい」などの感想が聞かれました。目指せ夢のヒット曲!!これからの活躍に期待しています。



【編集後記】

蝉の鳴き声から鈴虫の鳴き声に変わり、すいぶんと過ごしやすくなってまいりました。

10月から消費税が増税となり、消費者にとっては少し生活しにくくなりましたが、子供から高齢者まで、すべての国民が安心して過ごせる未来になることを期待したいと思います。



医療法人 圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
- グループホームこんぴら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
- サンライズこんぴら (小規模多機能型居宅介護) 香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・介護医療院 90床)

永生病院広報誌「ゆるめき」第57号
発行元：医療法人圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日:令和元年10月15日

永 生 病 院 だ よ り

季刊 2019 秋号 vol. 57

ゆるめき

【理事長のあいさつ】
病院機能評価受審を継続して

【健康ひろば】
「片頭痛」

【口腔ケア】
細菌カウンタの活用

【行事報告&お知らせ】
病院機能評価 4回目クリアしました

永生病院夏祭り開催
“路上の歌うまプリンス”笹山太陽さん、
いこいの家に来所!

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- 1. 医療を受ける権利
- 2. 自己決定権
- 3. 知る権利
- 4. プライバシーに関する権利
- 5. 学習する権利
- 6. 参加と協同



KEIRYOKAI

● 理事長のあいさつ

病院機能評価受審を継続して

10月1日より消費税率が10%となりました。「社会保障と税の一体改革」をスローガンにすすめられてきましたが、これで安心といえる域にはほど遠いようです。今回の税率引き上げにて、約5兆7000億円の税収増が見込まれており、高齢者の年金少額者への支援、幼児教育・保育の無償化が開始となり、残りは不足する社会保障費の財源に充てる計画とのことです。今後さらなる社会保障費の膨張は予想され、現役世代の負担増や将来への付け回しは必至と思われる。さらなる財源確保や社会保障の給付と負担の見直しが一層すすんでいくようです。高齢者の医療費・介護費なども自己負担率がさらに上がっていくものと思われます。フランスの「世界老後指数」ランキングの調査で1位は北歐アイスランド、2位スイス、3位ノルウェー、日本は23位であり、日本に関しては、平均寿命がトップで、医療・健康面では高い評価を得たけれど、急速な高齢化で、社会保障費、政府債務増加の悪循環があると指摘されています。トップを切って高齢化に突入していく日本の動向を、世界中が注視しているのかもしれない。

良質な医療サービスを提供することを目指し、2004年より病院機能評価を受審することとして、今年で4回目の受審となりました。

患者の意思を尊重した医療、患者の安全確保、医療関連感染制御、療養環境の整備、他施設との連携、診療・ケアにおける質と安全の確保、チーム医療による診療・ケアの実践、理念達成にむけた組織運営(労務

管理、教育、経営管理、設備管理、危機管理)などにおける合計90項目について、自院における状況を見直しつつ、出来ていない取り組みを実践していきます。医師はじめ医療従事者にとって、良質な医療を維持するよりどころとなります。はじめて2004年に全職員一丸となって取り組み、サーベイヤからいろいろな指摘を受けた時のことは感動的で、今でも鮮明に記憶に残っています。当院にとっていい意味でのターニングポイントとなりました。それ以来、全部署より委員が参加する病院機能評価委員会を設立し、多職種で情報共有しながら、日常的に無理なく取り組めるよう行っています。評価結果はS(秀でている)、A(適切に行われている)、B(一定の水準に達している)、C(一定の水準に達していない)の4項目となります。2014年3回目受審で、はじめて栄養管理、食事指導、の項目でS評価をいただきました。今回も同じ項目でS評価をいただくとともに、患者中心の医療、良質な医療の実践では、前回よりA項目がふえました。

この結果に甘んじず、今後も全職員一丸となって良質な医療サービスの提供に取り組んでいきたいと思ひます。



理事長 森 伊津子

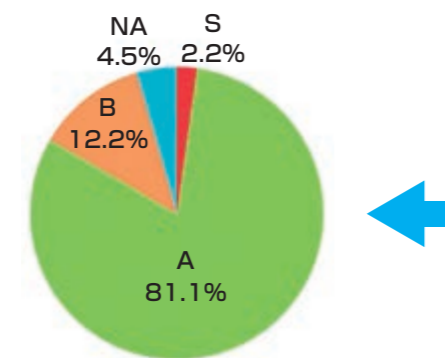
● 病院機能評価 4回目クリアしました



- 1回目 2004年
- 2回目 2009年
- 3回目 2014年
- 4回目 2019年

【今回の審査結果】

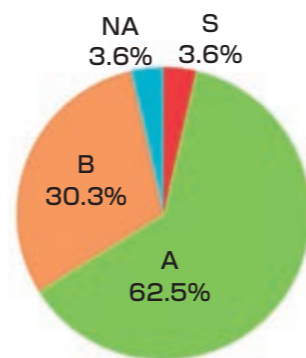
主たる機能種別: 一般病院



- S : 秀でている 2項目 (2.2%)
- A : 適切に行われている 73項目 (81.1%)
- B : 一定の水準に達している 11項目 (12.2%)
- C : 一定の水準に達していない 0項目 (0%)
- NA: 非該当 4項目 (4.5%)

【前回の審査結果】

主たる機能種別: 慢性期病院
副機能種別: 一般病院1



- S : 3項目 (3.6%)
- A : 58項目 (62.5%)
- B : 25項目 (30.3%)
- C : 0項目 (0%)
- NA: 4項目 (3.6%)

☆S評価は、前回同様、栄養管理、食事指導の項目でいただきました。

体の安心情報板 健康ひろば 第39回 テーマ 「片頭痛」

「片頭痛」という病気をご存知でしょうか。単に、頭の片側が痛くなる頭痛、ではありません。片頭痛は、ちゃんとした(?)疾患なのです。

わが国において、15歳以上の片頭痛の有病率は約8.4%とされており、女性に多い頭痛です。ズキズキする拍動性の痛みで、悪心・嘔吐や光過敏・音過敏を伴います。6割の患者さんは片側の痛みですが、両側の痛みを訴えることもあります。頭痛発作の頻度は月に1~2回程度が多いですが、患者さんにより様々です。頭痛が出現する前に、視覚障害や感覚障害などの前兆を伴うこともあります。頭痛は4~72時間持続し、重度の場合には寝込んでしまい、日常生活や学業・お仕事に支障をきたしてしまいます。

片頭痛と診断されれば、トリプタン製剤という非常に効果のある薬剤により痛みをコントロールすることができます。痛みがそれほど強くない場合には、よく処方される痛み止め(NSAIDsなど)で十分なこともあります。痛みが強いため、これらの痛み止めを連日多めに服用されているときには、「薬物使用過多による頭痛」という頭痛になっている場合があるため、注意が必要です。痛みが長期間頻回におこる場合には、漫然と痛み止めを飲み続けるのではなく、予防薬を使用したほうがよいでしょう。

片頭痛をきちんと診断できれば、つらい痛みをコントロールすることができます。片頭痛と診断されず、肩こりによる頭痛や神経痛と診断されていることもあります。頭痛が改善されない場合、頭痛専門医の診察を一度受けられてはいかがでしょうか。

片頭痛の診断基準(前兆のない片頭痛の場合)

- A. B-Dを満たす頭痛発作が5回以上ある
- B. 頭痛の持続時間は4-72時間
- C. 頭痛は以下の特徴の少なくとも2項目を満たす
 1. 片側性
 2. 拍動性
 3. 中等度~重度の頭痛
 4. 日常的な動作(歩行や階段昇降など)により頭痛が増悪する、あるいは頭痛のために日常的な動作を避ける
- D. 頭痛発作中に少なくとも以下の1項目を満たす
 1. 悪心または嘔吐(あるいはその両方)
 2. 光過敏および音過敏



脳外科 新堂 敦
日本脳神経外科学会専門医、日本頭痛学会専門医

● 細菌カウンタの活用

当法人では現在7名の歯科衛生士が、患者様や利用者様のお口の健康を守るために口腔ケアを行っています。

今回新しく導入された、細菌カウンタについて紹介します。細菌カウンタとはお口の中の細菌数が、その場で簡単に測定出来るものです。約1分間で測定することができ、7段階のフェースマークで細菌数が表示されます。

細菌といっても普段の生活では目に見えるものではないのでピンとこない方がほとんどだと思いますが、口の中の細菌は何百種類も存在し、糖尿病や肥満、心疾患、認知症など全身の病気に悪影響を及ぼすことが近年の研究で分かっています。

一般病棟では患者様の口腔内の状態によって、特定の方に期間を決めて細菌カウンタを活用し、細菌数を測定し状態把握に努めています。介護医療院でも、現在行っている口腔ケアの方法で効果が表れているのかを確認するために使用しています。色々な条件によって誤差はあると思いますが、口腔内の細菌数を明確にするために測定しています。

ご自分の口の中を知って頂くためにも、口腔衛生の大切さの動機づけになると思うので、今後はデイサービスでも口腔衛生指導の際に活用していきたいと思っています。

歯科衛生士

